

田辺工業高が優秀賞

県の研究 発表大会 研究と作文部門

和歌山市でこのほどあった
県高校教育研究会工業部会の
研究発表大会で、紀南から田
辺工業高校(田辺市あけぼの)
が研究部門と作文部門で優秀
賞に選ばれた。

研究部門は8組が参加して
最優秀賞1組や優秀賞2組な
ど、作文部門は4人が参加し
て最優秀賞1人や優秀賞1人



作文部門と研究部
門で優秀賞を受賞
した生徒と「から
くりきいちゃん」
(田辺市あけぼの
で)

り、たいてい曲げ
て溶接した。曲面
に合わせたハンマ
ーや鉄床も手作り
し、試行錯誤を重
ねながら約10カ月
かけて仕上げた。
部品を手作りし、

などが決まった。

研究部門には田辺工業高校
から機械科3年生の大橋賢治
君、片家祐紀君、前田ブライ
アン君が参加し「フルアルミ
ニウム製からくりきいちゃん
の製作」と題して発表した。

「からくりきいちゃん」

(高さ約110センチ、幅約70センチ)
は課題研究「アルミの鍛造・
溶接で物を作る班」の生徒5
人と高井正人教諭(45)が、
県からもらった紀の国わかや
ま国体マスコットキャラクターク
タ「きいちゃん」の3次元デ
ータを基に、厚さ3ミリのアル
ミ板(2枚×1枚)4枚を使
って作った。アルミ板を切り
出した部品は約200個あ

ハンドルを回すと首と手、し
っぽが動くようにしている。
研究発表大会では制作の理
由や過程、苦労などを伝えた。
前田君は「アルミをたいて
曲げる作業に苦労したけど、
完成してうれしかった。発表
も良かったと思う」という。

作文部門では機械科3年生
の平山智章君が「進路につ
いて」と題し、高校への進学や
卒業後の就職に向けた勉強、
就職先での目標、後輩への助
言などについて発表した。

「満足のいく結果ではなかつ
たけど、優秀賞に選ばれてう
れしい。進路について後輩に
は焦らず準備を整えて、勉強
と部活動を頑張ってほしい」
と話した。

「からくりきいちゃん」は
同校の玄関に置いており、学
校の開いている時間は一般の
人も触ることが出来る。